

定着器摩耗による印字汚れ・印字不良

対象機種
【全機種】

定着器による印字汚れ・印字不良とは？

レーザープリンターには、定着器と呼ばれるローラー状の部品が搭載されています。定着器内部のローラーが高温でトナーを用紙に圧着する仕組みとなっており、経年や印刷枚数により徐々に劣化します。定着器が劣化すると下記のような印字不良が発生します。このような場合はトナーカートリッジやドラムカートリッジを交換しても印字不良は改善しませんのでご注意ください。

定着器の摩耗が起因による印字汚れ・印字不良

※印字サンプル画像は分かり易くするため濃度を濃くしています。

前の印字が残留

ドラムカートリッジの周期間隔
 小型機種 (A3/A4問わず) 79mm間隔
 大型機種 (A3/A4問わず) 94mm間隔
 汚れの間隔周期が上記以外の場合は定着器ローラーの摩耗や傷が原因と考えられます。

シミのような汚れが79mm・94mm以外の等間隔で印刷される

縦方向に印刷した場合

横方向に印刷した場合

定着器摩耗による印字不具合の特徴

1. 前ページ・前の印字が薄く残って写る (二重写り)
2. 不規則に印字不良が発生する (連続印刷時など)
3. 爪で印刷部を擦ると落ちる (定着不良)



定着器ローラーにこびりついたトナーは印字汚れとして印刷されてしまいます。

定着器の摩耗ではない印字汚れ・印字不良

カートリッジ交換時に発生した一時的な印字汚れのサンプル



プリンター内に滞留したトナー粉末が、カートリッジ交換時等の振動で用紙搬送経路に落下して、トナー粉末をバラバラと落とした様な汚れが発生する場合があります。この場合は白紙の印刷を繰り返す事によりプリンター内部がクリーニングされて改善・解消されます。

カートリッジ交換直後の汚れは、滞留トナー粉末による起因が多いのでご注意ください。

一時的に改善する方法

定着器が摩耗するとローラー表面にトナーがこびり付きやすくなり、上記の印字不良が発生します。白紙を10~20枚印刷して定着ローラーに付着してしまったトナーを除去した上で、プリンタードライバーの「用紙種類」を「上質紙」「厚紙」「ラベル」など通常より厚い用紙設定にする事で、用紙への定着力が強くなりトナーのこびり付きが緩和され印字状態が改善する場合があります。但しあくまでも一時的な改善で、根本的な解決には定着器交換修理が必要です。

機種・印字内容・設置環境により大きく異なります。
定着器を長持ちさせる方法などは弊社営業担当にお問い合わせ下さい。

